

# 活動紹介

## = 研修旅行（長門峡～徳佐～津和野へ） =

6月10日、葦の会のメンバー10人が原田園長を案内人として初夏のバードウォッチングに出かけました。カジカガエルの鳴く長門峡ではキセキレイ、ヒヨドリのほか、背の高い木のてっぺんではオオルリが鳴いていました。途中通った川に架かる新三谷橋の下ではイワツバメ、近くの民家ではツバメがたくさん巣を造って子育て真っ盛り。また、徳佐小学校の校舎の軒下には独特の壺型の巣がいくつかあり、腰のあたりが赤く尾の細長いコシアカツバメが飛び回っていました。その近くの山道に入っていった林の中で、姿はほとんど見えませんが園長によれば、オオルリ、ホトトギス、サンショウクイ、ツツドリなどの声が聞こえていたそうです。ツキヒホシホイホイホイと鳴いていたのは、平地ではめったに見られないサンコウチョウ。長い尾羽を後ろになびかせ、枝から枝へ飛んでいました。津和野ではリフトで城跡に登り散策しました。



園長のすばらしいガイドのおかげでとても有意義な研修旅行になりました。

## = クロツラヘラサギ実態調査はじめます =

傷病クロツラヘラサギ保護の事業計画が、今秋から本格的に動き始めるにあたり、クロツラヘラサギの実態調査に葦の会も協力することになりました。どこに、どれだけの数がいて、何をしているかを調べます。まずはその下調べのため、7月上旬、山口湾の堤防沿いをぐるりと周ってみました。時おり小雨がぱらつく、どんよりとした日で視界は悪かったのですが、ダイサギ、チュウサギ、アマサギに交じってクロツラヘラサギ4羽が浅瀬にいるのを確認しました。この4羽は、どうやら越夏するようだと同行の園長が話していました。

今後の具体的な調査方法についてはこれから話し合っ決めてたいと思います。

## = 夏・子 楽しく活動 =

「夏休み子ども早朝観察会」は、台風12号の接近で実施を迷う思いもありましたが、元気な子どもたちの声に押されて7月29日（日）催行しました。7時20分ビジターセンター出発。子どもたちは熱波の後に台風がもたらした涼風を楽しみ、今年話題のアオビタイトンボをさがして走り回ったり、観察展望棟でのおやつ的冰菓子に歓声をあげたり、クイズに頭をひねったりと、楽しそうでした。



来年もまた参加したいという子ども達のキラキラとした瞳にスタッフも元気をもらえました。